

【大阪】NPO法人ヘル  
スケアネットワーク(OC  
HIS、武田裕理事長)が  
中心になり、運輸業界にお  
ける健康管理を事業者と医  
療関係機関で考える「安全



と健康を推進する協議会  
(両輪会)は2月21日に  
開く情報交換会が10回目と  
なる。座長を務める作本貞  
子理事は「両輪会の『業界

両輪会座長

作本 貞子さん

# 業界目線でテーマ設定

全体の底上げ」が次の目標」と語る。

「従来はトラック事業者自身で従業員の健康を考えてきた。しかし、同業者、医師・看護師、医療機器メーカーなど幅広い人たちが

S)、運転に影響を及ぼす薬の問題、メンタルヘルス疾患など会員から要望のあったテーマを設定。「回を重ねるごとに、文字通り『安全と健康』について、多くの事業者の方の取り組みの科学」(労働科学研究所刊)への連載依頼があり、「職業ドライバーの安全と健康」をテーマとする健康支援の重要性」などを取り上げてきた話題には、両輪会での意見交換の内容が反映され

情報交換できる場があればいいのではないかと、思いで呼び掛けた」と、発足の経緯を振り返る。これまで、新型インフルエンザや花粉症への対応、睡眠時無呼吸症候群(SA

熱が上がってきた。会を立ち上げた手応えを感じた。「他社はどう対応しているのか」と自社の活動を不安に思う管理者に、生きた情報を提供できたと思う。この間、月刊誌「労働の

## 「全体底上げ」次の目標

に荷主は、輸送を依頼した会社が事故を起こすと、ブランドイメージまで低下させることを認識しなければならぬ」と強調する。



作本氏は、中小零細事業者でも実効が上げられる「安全衛生委員会」づくりといった、業界目線のテーマ設定に意欲をみせる。

(佐藤 新一)